

PAT-NO: JP355134816A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 55134816 A  
TITLE: DISPLAY METHOD IN MICROSCOPE VISUAL FIELD  
PUBN-DATE: October 21, 1980

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SONODA, MASAO

INT-CL (IPC): G02B021/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the working efficiency of the microscope observer by providing a light emitting display means in the visual field of a microscope.

CONSTITUTION: The light from the observation plane 5 of the microscope passes through an objective lens 4, is reflected by a prism 3 and focuses at f. The focus of the eyepiece is put at f. A light emitting display means is provided in place of the shielding ring 6 in the position 6'. The light emitting display means, which is composed of a transparent resin ring 14, performs displaying by lighting the characters engraved in the ring 14 by the lamps 15~18 disposed in the circumference thereby relieving the characters. The flickering of the lamps is accomplished by a display control unit. Thereby, the working efficiency of the microscope observer may be improved.

COPYRIGHT: (C)1980, JPO&Japio

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭55—134816

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 02 B 21/00

識別記号

庁内整理番号  
6351—2H

⑬ 公開 昭和55年(1980)10月21日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 顕微鏡視野内表示方法

川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

① 特 願 昭54—41621

① 出 願 人 富士通株式会社

② 出 願 昭54(1979)4月6日

川崎市中原区上小田中1015番地

⑦ 発 明 者 園田真夫

④ 代 理 人 弁理士 松岡宏四郎

明 細 書

1. 発明の名称 顕微鏡視野内表示方法

2. 特許請求の範囲

顕微鏡の暗視野内に発光表示手段を設け、顕微鏡観察者に対し該発光表示手段により情報伝達する事を特徴とする顕微鏡視野内表示方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は顕微鏡観察者に対して情報を伝達するための顕微鏡視野内表示方法に関する。

電子機器等に使用する微小部品の接視や配線をする際に一般に顕微鏡が使用されている。

しかしながら、顕微鏡を観察しながら作業する人(以後、顕微鏡観察者と称す)が表示装置で表示された指示を確認しながら作業を進めるような場合があるが、この時、顕微鏡観察者は顕微鏡を通して部品を観察することと、顕微鏡から一旦離れて表示装置を見ることを頻繁にくり返すこととなり疲労がはげしく作業能率が低下するという問題点がある。

本発明の目的は、このような問題点を解消するも

ので顕微鏡をのぞいたままて作業に必要な表示装置の指示を見ることを可能とする方法を提供するもので、上記本発明の目的は顕微鏡の暗視野内に

発光表示手段を設け、顕微鏡観察者に対し該発光表示手段により情報伝達する事により達成される。

次に図面によつて本発明の詳細を説明する。

第1図は一般の顕微鏡の原理構成図を示すものである。

観察面5からの光は対物レンズ4を通り、プリズムで反射し $f_1$ で焦点を結ぶ。これは対物レンズ4と観察面との距離を移動させて $f_1$ が焦点となるよう調節する。

また、接眼レンズの焦点は $f_2$ に置かれている。従つて、構造上位置6に表示手段を置くことが可能である。この位置6の部分は一般的にスクリーン視野を一定とするため第2図に示す如く遮光リング8がセットされている。このリングにより遮光された部分は暗視野となる。

本発明は、この暗視野の部分に発光表示手段を設けて、顕微鏡観察者に対する情報伝達をしようと

いうものである。

第8図は本発明の第1の実施例による顕微鏡視野内表示装置の表示リングを示す。

第8図に示す如く、顕微鏡内のリング6に複数の穴を明けて、そこに光ファイバケーブルの一端を挿入する。

この光ファイバケーブル9を第4図に示すように顕微鏡7の筒8の外部に導いてランプハウス10に接続する。

ランプハウス10は第5図に示すような構成となっており、ランプ11の点滅はファイバケーブルを伝つて顕微鏡内に表示される。

なお、ランプ11を点滅する電源コード12は表示制御装置18に接続される。

第6図は本発明の第2の実施例による顕微鏡内表示装置の表示リングを示す。

これは顕微鏡の視野内に透明の樹脂リング14を置き、周囲に配置したランプ15~18により照明してリング14に彫刻した文字を浮き上らせて表示するものである。

ランプ15~18の点滅は表示制御装置18によつて制御され、顕微鏡観察者に対し伝達すべき情報に応じてランプを点滅する。

以上説明したように本発明の顕微鏡視野内表示方法によつて顕微鏡観察者の作業能名を向上せしめる効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は顕微鏡の原理構成図、第2図は顕微鏡接眼部斜視図、第3図、第4図は本発明の実施例による顕微鏡視野内表示装置の表示リング平面図、第5図は本発明の実施例による顕微鏡視野内表示装置を取りつけた顕微鏡側面図、第6図は第5図におけるランプハウス10の詳細図を示す。  
図において1は接眼レンズ、2はプリズム、3は焦点、4は対物レンズ、5は観察面、6は遮光リング、7は顕微鏡、8は筒、9は光ファイバケーブル、10はランプハウス、11はランプ、12は電源コード、18は表示制御装置。

代理人 井雄士 松岡 宏 四郎

